

不登校対策支援チームの設置について

構成員：福祉の専門家〔スクールソーシャルワーカースーパーバイザー（SSWSV）〕、教育相談に識見のある元教員〔不登校対策専門指導員〕
心理の専門家〔スクールカウンセラースーパーバイザー（SCSV）〕、不登校担当指導主事

- * 不登校の長期化等により解消が困難なケースに関して、不登校支援関係者による連絡会議等で情報収集するとともに、支援対応策について検討し、助言・支援・指導に当たる。必要に応じて、直接学校や家庭への支援に入ることも可能とする。（家庭支援に入る場合は、学校関係者（教職員又は教育委員会職員）が同行するものとする。）
- * 不登校の未然防止、初期対応、自立支援に向けた市町村教育委員会や県・私立学校の不登校支援体制の助言・支援に当たる。
- * 各学校や市町村教育委員会が主催する長欠対策会議等に積極的に参加し、「千葉県版不登校対策指導資料集」を活用した研修の充実を図る。
- * 不登校に係る知事部局の施策との連携強化を図る。

【不登校児童生徒数】
 * 県内 約 8,800 人
 * 年間90日以上（約40%）
 県（公）立 約 3,600 人
 私立 約 100 人
 * うち専門的な相談・指導を受けていない
 県（公）立 約 700 人
 私立 約 25 人
 「H28 問題行動・不登校等調査より」

児童生徒課
 ・不登校対策
 ・不登校に関する調査
 子どもと親のサポートセンター
 ・不登校支援

学事課
 ・私学窓口対応

不登校対策支援チーム

子サポ（1チーム） [申請窓口（私学は学事課）]
 ・情報収集 ・対策検討
 ・助言、支援 ・検証
 ・周知啓発活動
 ≪年間480時間（1回6時間×80日）≫

連絡会議（月1回）
 ・情報連携

地区不登校等対策拠点校（SSW配置拠点校）
 ・訪問相談担当教員
 ・SSW

SSWSV
 ☆社会福祉等に関わる専門的な助言・支援
 ☆保健福祉等関係機関との連携支援
 ☆SSWへの助言

指導主事
 ☆チーム関係職員間の連絡調整
 ☆市町村教委・学校との連携
 ☆管内支援関係者の資質向上（研修等による指導・助言）

不登校対策専門指導員
 ☆管内不登校の情報収集
 ☆教員経験を生かした学校体制改善のための相談・助言・援助
 ☆指導主事のサポート

SCSV
 ☆心理臨床等に関わる専門的な助言・支援
 ☆医療関係機関との連携支援
 ☆SCへの助言

市町村教育委員会：月例報告、長欠対策会議、関係機関との連携（不登校支援担当）

千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」との連携

学校（県（公）・私立）：ケース会議、SC・SSW等との連携（校長・教頭、生徒指導主事、学年主任、学級担任養護教諭等）

家庭（児童生徒・保護者）

地域若者サポートステーションとの連携

教育支援センター（適応指導教室）との連携【各市町村教育委員会】

不登校対策推進校（校内適応支援教室）との連携【公立小・中125校】

各市町村の健康福祉部局、児童相談所、福祉事務所、民生委員、病院、警察、発達障害者支援センター、中核地域支援センター、病院等との連携【各自治体等】

民間団体（フリースクール等）との連携【関係支援団体等】

県教育委員会：教育相談ネットワーク連絡協議会（年2回全体会・年2回地区別）
 * 不登校支援担当者間のネットワークづくりの推進